

「慢性期入院医療実態調査」

入院患者特性 中間集計結果

I 調査方法

1. 調査対象

1-1. 母集団（病院）

| | 母集団 | |
|------------------------------------|----------|-----------|
| | 病院数 | 病床数 |
| (a)療養病棟入院基本料（老人療養病棟入院基本料）を算定している病棟 | 3,715 病院 | 191,979 床 |
| (b)療養型介護療養施設サービス費を算定している病棟 | 2,475 病院 | 125,432 床 |
| (c)特殊疾患療養病棟入院料（1、2）を算定している病棟 | 418 病院 | 24,868 床 |

資料：(a)、(c)は、医療課調べ（平成16年7月1日）。

(b)は、「介護サービス施設・事業所調査」（平成15年10月1日）。

1-2. 抽出条件（層化基準による該当施設の抽出）

下記の層化基準を用いて、母集団の10%抽出を行った。

図表 層化基準

| | 層化基準として採用する理由 | 備考 |
|------|------------------------|---|
| 病院類型 | 療養病床に特化しているか否かによる影響を勘案 | 病床種類の組み合わせにより病院類型を設定。 ・療養病床のみ ・療養病床と他の病床（一般病床等）の組み合わせ |
| 所在地 | 所在地地域特性による影響を勘案 | 使用する区分は、介護報酬における「厚生労働大臣が定める1単位の単価」における地域区分とした。 ・特別区及び特甲地 ・甲地 ・乙地 ・その他 |
| 病床規模 | 病院規模による影響を勘案 | 病院全体の病床規模を用い、200床未満／200床以上の区分を設定 |

1-3. 抽出結果

抽出を行った施設に対して、協力が得られた施設数は430施設であった。なお、本資料は平成17年10月14日までに調査票の回収と精査が完了した353病院を集計対象とした。

図表 調査協力施設数

| 病院規模別 | 一般病床併設 | 地域別 | | | | 総計 |
|--------|--------|---------|----|----|-----|-----|
| | | 特別区・特甲地 | 甲地 | 乙地 | その他 | |
| 200床未満 | 併設無 | 11 | 0 | 10 | 80 | 101 |
| | 併設有 | 31 | 6 | 26 | 165 | 228 |
| 200床以上 | 併設無 | 3 | 2 | 3 | 18 | 26 |
| | 併設有 | 15 | 3 | 8 | 49 | 75 |
| 総計 | | 60 | 11 | 47 | 312 | 430 |

図表 本資料の集計対象施設数

| 病院規模別 | 一般病床併設 | 地域別 | | | | 総計 |
|--------|--------|---------|----|----|-----|-----|
| | | 特別区・特甲地 | 甲地 | 乙地 | その他 | |
| 200床未満 | 併設無 | 10 | 0 | 8 | 65 | 83 |
| | 併設有 | 20 | 5 | 21 | 143 | 189 |
| 200床以上 | 併設無 | 2 | 1 | 3 | 12 | 18 |
| | 併設有 | 15 | 2 | 6 | 40 | 63 |
| 総計 | | 47 | 8 | 38 | 260 | 353 |

2. 調査方法

- ・ 調査基準日（平成17年9月20日から10月7日までの期間で、各施設が定めた特定の1日）に調査対象の入院料を算定している療養病棟の全入院患者に対し、病棟看護師が関連職種と情報交換の上記入。
- ・ 調査票は調査協力受諾書の情報をもとに必要部数を調査事務局より郵送。
- ・ 調査方法は記入要領に明記する他、調査事務局にて電話で補足説明対応。
- ・ 調査終了後は、調査事務局へ郵送にて返送。